

CISSP とは？

合格への完全ガイド

8 ドメイン・5 年経験の国際最高峰資格
難易度・勉強法・年収への影響を最新データで徹底解説



自分に必要か判断したいでしゅ

段階的な攻略法がある



【解説に入る前に】サービスのご紹介



セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- ✓ 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- ✓ リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- ✓ セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

[詳細を見る →](#)



セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- ✓ 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- ✓ 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- ✓ 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

[詳細を見る →](#)



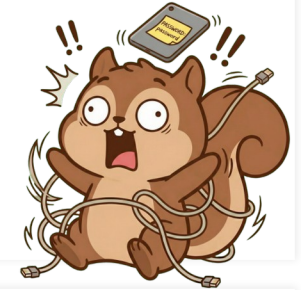
どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。

● CISSP とは？ ISC2 が認定する国際資格



正式名称と認定団体

ISC2（1989年設立）が認定する世界最高峰のセキュリティ資格



グローバルな通用性

世界180カ国以上で通用する国際認定基準に完全準拠



権威の源泉

30年以上の歴史と政府・軍の採用実績が国際的信頼を支える

● 世界最高峰と呼ばれる 3 つの根拠



8 ドメインの網羅性

技術からガバナンスまで横断カバー。経営層と話せる専門家を育成する設計



5 年実務経験の厳格要件

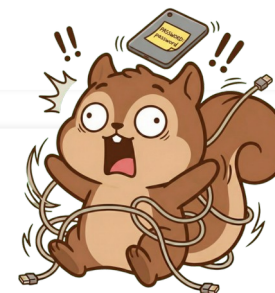
試験合格だけでは認定されない。実務裏付きの専門家証明として差別化



16 万人超のネットワーク

情報共有・キャリア形成に実際に役立つ全世界のプロネットワーク

3 要素が揃って初めてセキュリティリーダーの証明として世界で通用する



● 試験概要【費用・形式・受験条件】



受験料・出題形式

749 ドル。英語 CAT100 ～ 150 問／日本語 250 問・ 6 時間



合格ライン・再受験

700/1000 点以上。不合格後 30 日待機・年 3 回まで



受験の鉄則

一発合格が最もコスト効率が高い。十分な準備期間が不可欠

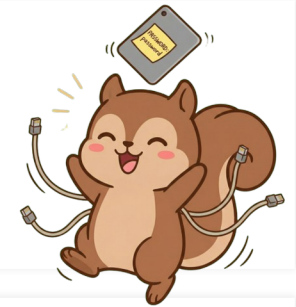


● 経験不足でも挑戦できるアソシエイト制度



アソシエイト制度

試験合格後 6 年以内に経験要件を充足すれば正式認定



CC 経由の段階ルート

CC 取得→実務経験→ CISSP。CC で経験 1 年分が免除される



救済制度

経験が足りなくても今すぐ動き始めることがキャリアの差になる

● 8 ドメイン前半：基盤・設計領域



D1 リスク管理 16%

最大配点 16%。ガバナンス・BCP・コンプライアンスを経営視点で問う



D3 アーキテクチャ 13%

ゼロトラスト・暗号技術・物理セキュリティの設計原則



前半の鉄則

D1 は最大配点 16%。マネジメント視点の習得が合格の分水嶺

● 8 ドメイン後半：運用・開発領域



D5 IAM 13%

ゼロトラスト実装の核心。PAM・SSO・多要素認証の統制力



D7 セキュリティ運用 13%

SOC・CSIRT 直結。インシデント対応・DR・ログ管理



後半の特徴

実務経験者が馴染みやすい領域だが全8ドメイン均等な学習が必須



● 合格率は非公表・不合格になる 3 つの落とし穴



技術偏重・リスク視点不足

技術偏重は禁物。組織全体のリスク最小化視点で回答する訓練が不可欠



英語ベースの思考様式

日本語版でも原文は英語。翻訳特有の曖昧さを読み解く訓練が不可欠



暗記頼りで概念理解不足

「なぜそうすべきか」を問う試験。用語の暗記だけでは太刀打ちできない



Think like a manager の視点が合格の最短経路



● 主要セキュリティ資格との比較

CISSP

国際通用度 最高水準

- ・ 受験料 749 ドル ・ 5 年実務経験必須
- ・ 8 ドメイン横断の超広範な試験範囲
- ・ 外資系 ・ グローバル企業で採用条件に
- ・ 維持費年 \$135 ・ 3 年 120CPE

VS

情報処理安全確保支援士

取得コスト 圧倒的優位

- ・ 国内試験で受験料が安く実務経験も不要
- ・ 技術系セキュリティに特化した試験範囲
- ・ 国内企業で広く認知される定番資格
- ・ 維持費年 1.4 万円（講習必須）



判断の軸

グローバル展開なら CISSP、国内重視なら登録セキスペから

● 独学合格の 4 ステップロードマップ

1

全体像の把握

1ヶ月目：公式テキスト（Sybex）を通読し8ドメイン全体を俯瞰する

2

ドメイン別深掘り

2～3ヶ月目：弱点ドメインを特定し重点的に理解を深める

3

問題集で実戦演習

4～5ヶ月目：マネージャー視点での回答を問題集で徹底的に習慣化

4

模擬試験と弱点補強

直前1ヶ月：時間配分を確認し弱点の最終補強を完了する

準備が全てだ。焦りより準備を



● CISSP 保持者の年収レンジとキャリアパス

国内年収レンジ



CISSP 記載の公開求人 13 件

中央値 650 万円（450 ～ 1,100 万円）



セキュリティコンサル（公開求人 9 社）

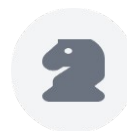
600 ～ 1,200 万円



CISO ・ 部門長（公的統計の部長級）

約 1,213 万円

活きる職種・キャリア



CISO ・ セキュリティ統括

8 ドメインの知識が直接活きる最上位ポジション



セキュリティコンサルタント

上流 PMO ・ ガバナンス案件で特に高評価



フリーランス独立

高単価案件 ・ リモート中心の柔軟な働き方

グローバル平均 約 12 万ドル（ISC2）

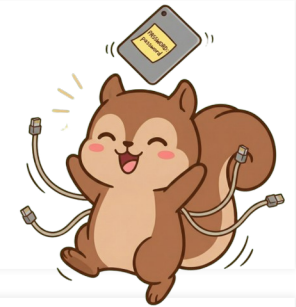


● 資格維持 CPE と上位資格（Concentrations）



CPE ・ 年会費

3 年 120CPE ・ 年 \$135 。 3 年維持費合計 \$405



上位資格 3 種

ISSAP / ISSEP / ISSMP の 3 種。 CISSP 認定者のみ受験可



合格後の展望

CISSP は終点でなく出発点。 継続学習が資格の価値を維持・向上させる

● まとめ



CISSP は ISC2 が認定する 8 ドメイン横断の国際最高峰資格。全世界 16 万人超の認定者を誇る



試験は 749 ドル・5 年実務経験必須。アソシエイト制度で経験不足でも先に合格できる



国内は CISSP 記載の公開求人 13 件で中央値 650 万円（450 ～ 1,100 万円）。セキュリティ人材不足で需要は拡大中

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

[セキュリティプロ・テンショク >](#)

